

ドクターヘリ操縦士の訓練要件

訓練項目	任用訓練				定期訓練		備考		
	座学訓練	飛行訓練			座学訓練	飛行訓練			
		OJT以前の訓練		OJT		実機	SIM		
		実機	SIM						
確実かつ安全な運航意識の涵養	離陸前確認呼称を含むチェックリストの確実かつ迅速な実施 運航地域の地形特性、離着陸場(場外離着陸場を含む)への習熟	○ ○			○ ○	○ ○			
気象状況等の確認・分析、飛行計画の作成	気象状況の確認 運航の可否判断 飛行計画の作成(飛行経路と離着陸場所の選定、緊急時の着陸場所の確認等を含む)	○ ○ ○			○ ○ ○				
往復経路の巡航	傷病者の状況に応じた高度等の判断	○			○				
ランデブーポイント、病院ヘリポートでの離着陸	現地における離着陸場所の適否判断 適切な離着陸経路の設定と運航(気象、障害物との離隔、地上の安全管理状況等を考慮)	○ ○ ○			○				
	セッティング・ウィズ・パワーの危険性の認識と回避 適切な降下率を設定した降下計画による着陸	○ ○	□+		○ ○	○ ○	□+		
	障害物件を考慮した適切な離着陸(確認、排除指示、見張りの設置要請) ダウンウォッシュの危険性の認識と回避(ホワイトアウト、ブラウンアウト)	○ ○			○				
	ローター停止までの機体接近監視	○			○				
	狭隘地や傾斜地等における安全な離着陸(地域特性等に応じ、山岳地、積雪地、屋上ヘリポート、重々量時を含む)	○ ○			○ ○				
	病院ヘリポートでの運航	○	○(※)		○			※病院ヘリポート側が受入不可の場合に限り、省略可	
	消防機関、地上支援スタッフとの通信連携 救急隊、傷病者の状況把握	○ ○			○ ○				
	CRM、AMRM 医療機器の取扱い知識と安全確保	○ ○			○ ○				
	ヘリ輸送が傷病者に与える医学的影響に関する知識 血液感染症等の防止	○ ○			○ ○				
	運航の安全を阻害する可能性のある幼児等の取扱	○			○				
不測の気象状況への対応	緊急着陸必要時の着陸場所の選定と進入 予期せぬIMC(IIMC)、フラットライトの危険性の認識と回避	○ ○	□+		○ ○	○ □+			

シミュレータ(SIM)欄の記号 □:シミュレータにより実機訓練を代替可能、+:他型式のシミュレータも使用可能